

農用地の保全について



櫻井 潤一郎 議員

一般質問



本澤 節子 議員

焼却場問題について

質問…取組みについて伺います。

答弁…平成26年度から多面的機能支払い交付金事業があり、今年度は51団体が5740haの維持管理活動を行っています。

質問…遊休農地・耕作放棄地の推移と防止対策について伺います。

答弁…耕作放棄地の推移は、2015年農林業センサスによると、大田原地区が69・9ha、湯

津上地区が21・1ha、黒羽地区

が112・5ha、合計203・5haとなっております。その5年前の2010年が全体で149・5haでしたので、面積で54ha、率で136%に増加しています。

防止対策については、農地パトロールの結果により、遊休農地及び遊休化のおそれのある農地の所有者等に対して、利用意向調査を実施し、農地中間管理機

構への貸し付けなど、農地のあ

つせんを推進し、今後もさらなる強化を図っていきたいと考えています。さらに、中山間地域等直接支払い交付金事業や多面的機能支払い交付金事業の中間

検査及び実績報告も検証し、地元住民による農地の保全管理を支援するなどして、耕作放棄地の発生防止につなげていきたいと考えています。

質問…「広域クリーンセンター

大田原」の基幹部分の改修及び発電機設置工事は44億円と多額、議会で十分議論すべきです。

答弁…那須地区広域行政事務組合正副管理者会議や、本市議会議員も構成議員となっている同組合議会による議論等を経て進めてきたところであります。長寿命化総合計画を平成30年3月に策定し概算事業費を約44億円

と計画したところであります。

仕様書や事業費等につきまして、コンサルタント会社に工事発注支援業務を委託、技術評価

を行い、適正な内容であるとの結果になっております。工事期間は、同組合の議会の議決の日から3日を経過する日から令和4年3月22日までとしております。6月25日入札を行い、7月中旬に組合議会臨時会を開催す

る予定であります。

質問…地元自治会に対する説明会を開催すべきです。

答弁…6月28日開催します。

質問…大田原市が主導権を発揮して移転推進チーム設置など、具体化について伺います。

答弁…今回の工事完了後に、那須地区広域行政事務組合における検討熟度を深めていくよう、那須町と努力してまいります。